

投票所再編後初めての選挙

大幅削減により投票率低下

7月5日投票所で行われた知事選挙より、甲賀市内の投票所は95か所から49か所に大幅に削減されました。8月18日の総務常任委員会で、知事選挙の投票結果、投票所再編による支援策についての報告がありました。

委員会では西山実議員は、投票率について、県内では2位であつても甲賀市の投票率は、前回と比べ12ポイントの減、今回と同様の単独選挙の8年前と比べると47.86%から45.13%に2.76%減少、甲賀市の下げ率が大きいことを指摘しました。選挙管理委員会事務局からは、「投票率が落ちている要因は様々あると思うが、今回投票所を再編したことにより投票率が落ちたことも

要因の一つでもある」と説明がありました。

西山実議員は期日前投票率が53.27%で大きく増加したこと、の要因として、「期日前投票の割合の高い地域に投票所を削減した地域が多く含まれているのではないかと、実際、投票所が無くなった地域の複数の方からの、『期日前投票に行かざるを得なかった』との声を伝え、検証を求めました。

また、年代別投票率について、10代の男性と20代が3割に達していないこと、80歳以上の女性の投票率が34.5%で平均よりも10%下回っているため、分析と対策を求めました。

ついては、利用が1名だったこともあり、施策の周知方法等の課題を指摘しました。

ポスター掲示場について、これまでであった場所を移動したことにより分かりにくくなったという声を伝え、理由を質したところ、「これまで168カ所あった民地をすべてなくした。地域から(改善の)要望もいただいております。地域の方の意見も参考にしながら視認効果が高まるよう議論していく」と回答がありました。

選挙は民主主義の根幹です。投票所削減により投票率が低下することは看過できません。この問題は、山岡光広議員が9月議会一般質問で取り上げます。

小学6年生の代表が広島平和記念式典に参加

原爆投下から81年、甲賀市では小学6年生の児童15人が、平和記念式典に参加する「広島平和記念事業」が行われました。(写真は出発式の様子)



児童15人は、8月5日に広島平和記念公園で折り鶴をささげ、記念資料館、原爆ドームなどを見学、6日は、平和記念式典に参列後、全国子ども平和サミット参加し、原爆被害の概要、被爆体験のお話を聞きました。

8月23日(日)10時から、甲賀市平和記念の集いが、あいこうか市民ホールで開催されます。被爆体験伝承者の被爆体験のお話し、広島平和記念式典に参加した児童による報告が行われます。

1. 知事選投票結果について

■投票率 45.13% (県投票率 40.41%) +4.72%
※県内13市中2位
4年前投票率 57.65% (参院選と同日選挙)
8年前投票率 47.86% (単独選挙)

■投票者数 31,177人、うち期日前投票 53.27%
4年前 41,207人、うち期日前投票 36.32%
8年前 34,915人、うち期日前投票 28.05%

2. 各支援策について

■投票システム導入による共通投票所の導入
投票日当日に市内49カ所での投票所でも投票できる環境整備を実施。342人が利用。

■大型商業施設における期日前投票所の設置
平和堂アル・プラザ水口にて、6月27日(土)から7月4日(土)までの8日間、10時から19時まで期日前投票を実施。3,621人が利用

■移動期日前投票所
再編後の投票所までの距離が3km以上となる地域7カ所約900世帯を対象に97人が利用。甲賀看護専門学校で26人が利用。

■タクシーによる無料での移動支援(当日投票)
利用者は1名のみ。30代女性で、こども2名を連れて移動支援を利用し、投票を実施。

3. ポスター掲示場の見直しについて

投票区再編に伴い、法定数(投票区面積と有権者数に応じて定められる)が629カ所から376カ所となるため、ポスター掲示場の見直しを実施。設置数を477カ所から309カ所へ変更し、設置場所も官地や交通量が多い場所へと見直す。

終戦の日に市内を宣伝

終戦から81年となる8月15日、日本共産党甲賀市議員団3名が、甲賀市内を回り「いま日本は、9条改憲をはじめ『戦争国家』への暴走を許すのか、憲法9条を生かして平和をつくる道を進むのか、歴史的な岐路にたっている。平和を求める国民のみなさんと力を合わせてがんばる」と訴えました。



日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2026年 8月 23日 第595号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044